



(c)Kaz Ishikawa

細川俊夫 招聘教授 公開講座 2025

① 7月2日(水) 18:15～ 新1号館128教室(合唱スタジオ)

「細川俊夫作品 演奏ワークショップ」

上演曲：《祈雨》(2018)、《エディ》(2009)

② 7月7日(月) 18:00～ 新1号館121教室(アンサンブル室L-3)

「細川俊夫 自作を語る」

「現代におけるオペラ作曲について」－新作オペラ「ナターシャ」と「二人静」を中心に－

③ 7月11日(金) 18:15～ 新1号館128教室(合唱スタジオ)

「作曲特別レッスン」

受講生：褚海辰(修2)、鄒容(修1)、歌川響(修1)

※入場無料(申込不要)

全席自由・未就学児不可



主催：国立音楽大学作曲専修運営会



◆国立音楽大学では、毎年、招聘教授である細川俊夫先生による3日間の公開講座を開催しています。

細川先生は、世界のオペラハウスを席巻する国際的な作曲家であり、ベルリン・フィルやウィーン・フィルをはじめとする世界的なオーケストラのための新作を多数委嘱されています。現在、最も国際的に評価されている作曲家である細川俊夫招聘教授によって行われる3日間の公開講座は、細川先生ご自身の最近の作品についてのレクチャー、細川先生の作品2曲の本学学生による演奏の公開リハーサル、細川先生ご自身の最近の作品についてのレクチャー、3名の作曲学生を対象とした実演付きレッスンという、多角的な内容となっています。

①「細川俊夫作品 演奏ワークショップ」

2025年7月2日（水）18:15～19:45 新1号館128教室（合唱スタジオ）

* 本学学生により細川先生の作品を上演し、演奏への助言を頂く公開リハーサル形式

- ・《祈雨》(2018) 打楽器：堀田明杏 川崎友仁 高山菜桜 (Dip)
田中健太 藤生愛菜 築瀬喬介 (学2)
- 指揮：山本哲也先生

- ・《エディ》(2009) クラリネット：斎藤穂乃香 (学2)

②「細川俊夫 自作を語る」

2025年7月7日（月）18:00～19:30 新1号館121教室（アンサンブル室L-3）

* 「現代におけるオペラ作曲について」－新作オペラ「ナターシャ」と「二人静」を中心に－

③「作曲特別レッスン」

2025年7月11日（金）18:15～19:45 新1号館128教室（合唱スタジオ）

* 下記3名の学生の作品を実演し、レッスンして頂きます。

- ・褚 海辰（修2）《将進酒》 指揮：山本哲也先生 演奏：有志によるオーケストラ
- ・鄒 容（修1）《孤音の唸り(The Moan of a Solitary Tone)》 ヴァイオリン：谷川絢音 (学4)
・歌川 韶（修1）《Blinky Blur》 トロンボーン：氣仙晏齊 (Dip)

細川俊夫（作曲家）プロフィール

1955年広島生まれ。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーバーに作曲を師事。80年代以降ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、オペラ劇場などから次々と委嘱を受け、国際的に高い評価を得ている。作品は、大野和士、準・メルクル、ケント・ナガノ、サイモン・ラトル、ロビン・ティチアーティ、フランツ・ウェルザー=メストなど、世界一流の指揮者たちによって初演され、その多くはレパートリーとして演奏され続けている。2014年にオペラ「班女」がエクサン・プロヴァンスで、11年にオペラ「松風」がブリュッセル、16年にオペラ「海、静かな海」がハンブルクで、17年にオペラ「二人静」がパリで、18年にはオペラ「地震・夢」がシュトゥットガルトで初演。いずれも大きな注目を集めるとともに、高い評価を受けた。01年にドイツ・ベルリンの芸術アカデミー会員に選ばれる。12年にはドイツ・バイエルン芸術アカデミーの会員に選出された。07年、サントリー音楽賞受賞、12年秋、紫綬褒章を受章。18年度国際交流基金賞を受賞。21年ゲーテ・メダル受賞。23年カリフォルニア大学、バークレー日本賞受賞。現在、武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。国立音楽大学招聘教授。2020年から広島交響楽団のコンポーザー・イン・レジデンス。2022/23年、チューリッヒ、トンハレオーケストラのコンポーザー・イン・レジデンス。今年8月、新国立劇場にて委嘱作品オペラ《ナターシャ》の世界初演が予定されている。